

ウインドインハーヘア牝系が2歳戦で大活躍

254 モーリス 2/10生 メス 鹿 

ヴェルスパー の22 300万円

栗東・小崎 憲 厩舎予定

曾祖母ウインドインハーヘアはディーブインパクトの母です。祖母ヴェルザンディが2勝、母ヴェルスパーが3勝と堅実に走る母系です。今年の2歳戦ではこのファミリー出身のレガレイラ、ヘルモーズ、ステレンボッシュ、アーバンシックが芝の中距離で新馬勝ちを収めています。

父モーリスは、自身が芝1600~2000mでG1を制したように、ピクシーナイトのスプリンターズS-G1に始まり、昨年はジェラルディーナのエリザベス女王杯-G1、今年はジャックドルの大阪杯-G1と輩出したG1勝ち馬の距離のバリエーションは富んでいます。また、昨年は豪州での産駒ヒトツが、VRCオーストラリアンギー（芝1600m）とATCオーストラリアンダービー（芝2000m）の両G1を制しています。

《10/7 NF空港》9月中旬に初期馴致を終えて、コースでの調教を開始しました。現在は週2日は屋内坂路コース（900m）2本をハロン17~18秒、週1日はスクーリングとして屋内周回コース2500mに入っています。

動きに硬さは感じられるものの、徐々に調教メニューに対応しつつあり、順調にペースアップができています。また育成厩舎の環境にもすっかり慣れて、普段から大人しく落ち着いています。

カイバ食いが旺盛で着実に馬体重が増えており、良い馬体に成長してきました。脚元に気になるところもなく、進み方として申し分ありません。現在の馬体重は446kgです。



2歳 追分ファーム販売 申込締切 / トレセン入厩前日まで 西

母はチリ1000ギニー勝ち等G1を2勝、チリ2歳牝馬チャンピオン

96276 ロードカナロア 3/22生 メス 鹿 

ディヴィナプレシオーサ の21 競走馬名 / **ルスディヴィナ** Luz Divina 意味 / 神の光 (スペイン語) 280万円

栗東・武 英智 厩舎予定

《血統point》母はチリ2歳牝馬チャンピオンでG1を2勝しました。4代母には第1回ジャパンカップを制したメアジードーツがいます。

父ロードカナロアは香港スプリント2勝などの名スプリンターです。アーモンドアイやサートゥルナーリアなどを送り出し、一躍トップサイアーへと登りつめました。本年でもパンサラッサ（サウジカップ-G1）、ファストフォース（高松宮記念-G1）など、国内外で産駒の躍動が目覚ましい種牡馬です。サンデー系を迎えてきたこれまでの配合とは趣向を変え、母の繁殖牝馬としてのポテンシャルをより一層引き出すことが期待されています。

1歳上の半姉ビューティーワンは、2歳秋にダート1800m戦で2着馬に3馬身半差をつけ勝ち上り、続く1勝クラスで2着の成績を挙げました。



9/19

《10/13 チャンピオンヒルズ》前さばきの硬さも改善されてきたため、この中間は徐々にピッチを上げています。現在のメニューは、周回コースでハッキングキャンターを3000mと坂路コースをハロン18-17秒ペースで1本という内容です。

硬さは以前ほど感じなくなったものの、先週は強めのフケが来てしまい、前進氣勢に欠けて、なかなか進んでいきませんでした。今週にはフケも終わり、少しずつ動けるようになっています。新しい環境に慣れていけば、もっと良くなりそうなので、状態をチェックしながら、段階ずつ負荷を強めていく予定です。飼いは食べており、最新の馬体重は485kg（9月下旬より+4kg）でした。

3月下旬 / 2023 [cm]	
体高	159.0
胸囲	179.0
管囲	19.2



祖母フラニーフロイドはG1を含む北米8勝

255 ルーラーシップ 4/17生 牡 鹿 

プラトリーナ の22 300万円

栗東・高橋 亮 厩舎予定

祖母フラニーフロイドはアメリカでブライアリスS-G1を含む8勝した活躍馬で、繁殖としての期待の大きさは3年連続してディーブインパクトが交配されたことからわかります。

そのうちの1頭である母は、ルーラーシップとの配合によって本馬を出産しましたが、ディーブインパクト、キングカメハメハ、トニービン、ノーザンテーストと日本競馬の一時代を築いてきた名種牡馬達の名前が血統表にズラリと並ぶことになりました。菊花賞馬として多くのG1の舞台で熱戦を演じたキセキを筆頭に、過去に多数の活躍馬を出しているニックスです。

本馬は牡馬としては現状では馬体重が少なめですが、コンパクトにまとまった馬体の持ち主で、日に日に成長を見せています。

《10/7 NF空港》本格的な馴致を開始するために、10/4にNF-Yearlingより移動しました。

NF-Yearlingで夜間放牧を継続して行えたことで、体重はグッと増えました。単に数字が増えたのではなく、筋肉量が増えて幅が出た馬体はひとまわり大きくなりました。

育成厩舎への移動に備えて進めていた鞍付等の初期馴致では、受け入れの良さと理解力の高さを見せてくれました。この賢さがあればこれからの育成にも難なく対応できるでしょう。NF空港ではまず、新しい環境に慣らすところから始めます。現在の馬体重は442kgです。



中央競馬オーナーズ 販売中の馬

全10口

10/19現在



1歳

Real Time

販売状況



販売者	No.	父/販売馬/母の父/1口の金額	性/毛色/生日	予定厩舎/在厩地	体高/胸囲/管囲	体重/増減	血統ポイント
関東	233	ドゥラメンテ スウィッチインタイム の22 (Galileo) 400万円	メス 鹿 4/2	黒岩 陽一 NF 早来	150.0 170.5 19.5	424 +63	母は北米1勝、初仔の半兄ダノンスウィッチが勝ち上り 祖母スウィッチは北米G1-2勝
	235	ハービンジャー エルゴレア の22 (ゼンノロブロイ) 320万円	牡 栗 2/21	栗田 徹 NF 空港	153.0 179.0 20.7	468 +54	母は中央2勝、地方2勝
	満口近し 237	ブリックスアンドモルタル リビアーモ の22 (アドマイヤベガ) 300万円	メス 鹿 3/24	林 徹 NF 早来	157.0 173.0 20.8	436 +44	母は6勝、半姉パルティアーモは4勝
	249	マクフィ エルノルテ の22 (ディーブインパクト) 300万円	牡 鹿 4/24	辻 哲英 NF 空港	155.0 173.0 21.2	456 +85	母は3勝
	250	Saxon Warrior サンカルパII の22 (True Cause) 360万円	メス 鹿 2/1	宮田 敬介 NF 早来	155.0 187.0 20.5	497 +28	父 Saxon Warrior はディーブインパクト産駒のG1ウイナー
ノーザンファーム	満口近し 253	キズナ エクセランフィーユ の22 (Frankel) 400万円	メス 黒鹿 1/19	四位 洋文 NF 空港	151.5 172.0 19.8	431 +43	初仔 母は3勝、近親レクセランス
	254	モーリス ヴェルスパー の22 (ロードカナロア) 300万円	メス 鹿 2/10	小崎 憲 NF 空港	157.0 178.0 19.5	446 +51	近親ヘルモーズ、レガレイラは新馬勝ち
	255	ルーラーシップ プラトリーナ の22 (ディーブインパクト) 300万円	牡 鹿 4/17	高橋 亮 NF 空港	148.0 170.0 20.0	442 +82	祖母フラニーフロイドはG1を含む北米8勝

● 測尺(体高・胸囲・管囲)は8月下旬現在。● 馬体重は9月下旬現在。下段は6/5からの増加

● 先着順で各馬とも満口になり次第締切り ● 予定厩舎は事情により、入厩までに変更となる場合もあります ● 金額には消費税が含まれています

お申込先

ホームページ

24時間
受付

OWNER'S AREA

> 【1歳】販売馬購入お申込み

> 【2歳】販売馬購入お申込み

お電話

月・水・金
9:30-17:00
(火・土日・祝休)

ノーザンファーム 販売馬 03-5572-6840

追分ファーム 販売馬 03-5572-6856

- ① 共有者番号(数字5桁)・お名前
 - ② 販売馬番号・馬名
 - ③ 希望口数(1頭につき最大4口まで)
 - ④ 値引特典(特別割引額)の有無
 - ⑤ お支払い方法
- 一括 | 2%割引 または 分割
- ※2歳馬は一括お振込みのみ(一括割引はありません)

お支払いスケジュール

申込日	1歳	2歳
10/1~31	12/6 全7回	10日以内にお振込 12/6 自動振替
11/1~30	2024/1/9 全6回	10日以内にお振込 2024/1/9 自動振替

- ① 馬代金(一括)
- ② 保険料(馬代金の3%)
- ③ 預託料(1~10月分)
- ④ 預託料(1~11月分)



東

半妹はセレクトセールで高評価

233 ドゥラメンテ 4/2生 メス 鹿
スウィッチインタイムの22
 美浦・黒岩 陽一 厩舎予定 400万円

母の初仔ダノンスウィッチ(牡2 父 American Pharoah)が、10/15の京都・芝1400mで待望の初勝利を挙げました。本馬の半妹にあたる当歳(父コントレイル)は今年のセレクトセールで1億7,000万円で落札されています。

祖母スウィッチは北米G1-2勝を挙げ、ブリーダーズカップフィリー&メアスプリント-G1を2着2回、3着1回の成績を収めた名牝です。その産駒のキスユウレイターはアイルランドのG3に3着の成績を挙げています。曾祖母アントニエットは北米9勝、G3勝ちを収めており、活躍馬多数の活力のある牝系です。

本馬は4/2生まれで幼さが残る体つきですが、馬体重は6月中旬に30kg以上増えており、成長が著しい1頭です。

《10/7 NF早来》本格的な馴致を開始するために、9/25にNF-Yearlingより移動しました。NF早来移動後も順調に夜間放牧を継続できました。

体高は低めですが、ひと夏を越えて馬体が成長して、容量と幅のあるしっかりとした体つきになってきました。

馴致を通して新しい経験を積むことによって、性格もだいぶ大人びてきました。スムーズに基礎馴致が進んだので、様子を見てロング場での運動を始める予定です。現在の馬体重は424kgです。



母は中央2勝、地方2勝

235 ハービンジャー 2/21生 牡 栗
エルゴレアの22
 美浦・栗田 徹 厩舎予定 320万円

母エルゴレアは地方競馬で2勝を挙げて、中央競馬に再登録を行うと6歳3月までコンスタントに出走し2勝2着3回の成績を収めました。その産駒のエルメニアは中央競馬で1勝を挙げています。

祖母ゴレラはフランスにてG2に勝利し、ムーランドロンシャン賞-G1 2着、ブリーダーズカップマイル-G1 3着と活躍しました。その産駒のネオウイズダムが特別勝ち含む5勝を挙げています。

本馬は活躍馬多数の血統を背景に、頑健な四肢の造りや身体的な強度だけではなく、内臓面の強さを併せてもっており、堅実で息の長い活躍が期待されます。

《10/7 NF空港》いい意味での私の強さがあり、納得すれば問題ないので、スムーズに馴致が進められました。ロング場での騎乗馴致をひと通り卒業して、周回・坂路コースでの調教を始めています。

現在は週2日は屋内周回コースでハッキングキャンターを2500m、週4日は屋内坂路コースで乗られ、週3日はハロン20秒のキャンターを1本、週1日はハロン19秒のキャンターを2本のメニューを消化しています。

いい動きをしていますが、ハービンジャー産駒らしくトモには緩さがあります。これからしっかりと鍛えて、パワーアップを図ります。現在の馬体重は468kgです。



西

母は3勝、近親レクセランス

253 キズナ 1/19生 メス 黒鹿
エクセランフィーユの22
 栗東・四位 洋文 厩舎予定 400万円

母エクセランフィーユはトントン拍子で3勝をあげましたが、その後は気性の難しさを出してしまいました。そのあたりがフランケル産駒の難しさではありますが、母父として4世代目となるのが今年1歳です。本馬と同じ牝馬のモズメイメイ(3歳)が今春チューリップ賞-G2と葵S-G3を制しており、欧州最強馬の血が母系でも本領発揮する時がいよいよ到来したかと感じます。

父のキズナは着実に種牡馬としての地位を確立してリーディングサイアーの階段を上がってきました。産駒は海外でも強みを発揮できるほか、芝・ダートや距離の長短を問わず幅広い舞台で活躍馬を出すのが特長です。初仔である本馬には、瞬発力勝負の競走馬像を思い描いています。

《10/7 NF空港》本格的な馴致を開始するために、10/5にNF-Yearlingより移動しました。移ってきて間もないため、まずは新しい環境に慣らしています。

NF-Yearlingでは、初期馴致と夜間放牧を実施していました。運動量が増えるにつれて、小柄な馬体にはしっかりと体力が備わってきました。

また、以前のようにチャカついた印象はなくなっています。母のようなピリッとしたところを残しつつも指示を待てるところは好感が持てます。オンオフの切り替えができる性格と、バランスの良い骨格を柔らかい筋肉が包んだ馬体を有する本馬がどのような走りを見せてくれるか楽しみです。現在の馬体重は431kgです。



満口近し 母は6勝、カンティアームは新馬戦をレコード勝ち

237 ブリックスアンドモルタル 3/24生 メス 鹿
リビアーモの22
 美浦・林 徹 厩舎予定 300万円

母リビアーモは3歳5月に初勝利すると、5歳10月にはオーロカップでオープン競走での勝利を飾り、最終的には計6勝を挙げました。サンデーレーシングの勝負服で、豪快に追い込む姿は実に印象的で、記憶にも残る馬だったといえるでしょう。引退後は2頭のオープン馬を送り出したほか、カンティアームが7/30の新馬戦(新潟・芝1800m)でレコード勝ちを収めるなど、繁殖牝馬として優秀なところをみせています。

また、父ブリックスアンドモルタルは初年度産駒から早々と新馬勝ちを飾る活躍馬を輩出して、種牡馬としての能力の高さを示しています。北米の芝戦線を席巻した父の切れ味、そして、母の豪快な末脚を思い起こすと、本馬にどれだけの爆発力が秘められているか、楽しみでなりません。

《10/7 NF早来》現在はロング場で騎乗馴致を進めています。走りはかなり柔らかく、バネがありそうです。

一方、気性的には難しいところがあり、とにかく敏感で反応が良すぎてしまいます。このようにピリッとしたところは、上手くコントロールができれば大きな武器になるので、その良さを失わないように丁寧に進めていきます。

馴致を進めてもカイバ食いは良く、モツヤも良好です。骨格に対してやや薄めではあるので、もう少しどっしりした感じが出てくれば、よりいっそう良化が期待できるとみえています。

気性面に気をつけながらロング場で乗り込んだうえで、周回・坂路での調教へと進める予定です。現在の馬体重は436kgです。



SIRE RANKING

中央：10/15 現在

【2歳】(2021年生)	代表産駒	主な成績
1 エピファネイア	ジュンゴールド	10/14 京都 紫菊賞
2 スワーヴリチャード	コラソソビート	8/6 新潟 ダリア賞OP
3 ロードカナロア	アスクワンタイム	9/3 小倉2歳S-GIII
4 モーリス	ミルテンベルク	9/3 小倉2歳S-GIII 2着
5 キズナ	キャンブルーム	9/2 札幌2歳S-GIII 3着
6 ブリックスアンドモルタル (USA)	ゴンパデカーブス	10/7 サウジアラビアRC-GIII
7 ドレフォン (USA)	マスクオールウィン	9/23 中山 カンナS-OP 2着
8 ダイワメジャー	アスコリビチエノ	8/27 新潟2歳S-GIII
9 ヘニーヒューズ (USA)	ゼルトザーム	7/15 函館2歳S-GIII
10 リアルスティール	ドナベティ	9/3 札幌 すずらん賞 OP

【3歳】(2020年生)	代表産駒	主な成績
1 ドゥラメンテ	リバティア일랜드	桜花賞-GI・オークス-GI 秋華賞-GI・阪神JF-GI
2 キタサンブラック	ソールオリエン	皐月賞-GI・京成杯-GIII ダービー-GI 2着・セオリア-GII 2着
3 ハーツクライ	ハーバー	クイーンC-GIII・オークス-GI 2着 秋華賞-GI 3着
4 ロードカナロア	ベラジオオペラ	スプリングS-GII
5 エピファネイア	モリアーナ	紫苑S-GII
6 ルーラーシップ	マスクディーヴァ	ローズS-GII 秋華賞-GI 2着
7 モーリス	ノッキングポイント	新潟記念-GIII
8 キズナ	サヴォーナ	神戸新聞杯-GII 2着
9 ハービンジャー (GB)	ファントムシーフ	共同通信杯-GIII・皐月賞-GI 3着 神戸新聞杯-GII 3着
10 サトノクラウン	タスティエーラ	ダービー-GI・弥生賞-GIII 皐月賞-GI 2着

母は3勝

249 マクフィ 4/24生 牡 鹿
エルノルテの22
 美浦・辻 哲英 厩舎予定 300万円

母エルノルテは2歳6月にデビュー勝ちを飾ると、芝1200mから1400m戦を中心にコンスタントに出走を重ねて、6歳2月まで大きな怪我をすることなく、競走生活を全うしてくれました。

さらに、母系からは、母の妹エルピッシュとその仔であるトルキンなど、芝の短めの距離で堅実な活躍をみせる馬が輩出されています。

マクフィはオールアットワンス(アイビスサマーダッシュ-G3 2回)を送り出しており、本馬も父母からスピード能力を受け継いでいると推察されます。芝マイル戦を中心に堅実に活躍する、馬主孝行な競走馬に育ってくれそうです。

《10/7 NF空港》本格的な馴致を開始するために、9/6にNF-Yearlingより移動しました。初期馴致はスムーズに進み、現在はロング場で騎乗馴致を進めています。

NF空港の環境にも慣れて、大人しく落ち着いています。人の指示を素直に受け入れるので、馴致は順調に進んでいます。カイバ食いも良好で、運動を行いながらもフックラとした好馬体を維持しています。

騎乗運動ではトモに緩さはあるものの、良いフットワークをしています。また、もうしばらくロング場で走り方の基礎を固めながら体力強化を図り、様子を見て周回・坂路での調教を始める予定です。現在の馬体重は456kgです。



母は亜G1勝ち含む4勝

250 Saxon Warrior 2/1生 メス 鹿
サンカルパIIの22
 美浦・宮田 敬介 厩舎予定 360万円

母サンカルパIIはアルゼンチンのG1競走を制覇した活躍馬です。引退後はアイルランドでサクソンウォリアーを種付けしたうえで、ノーザンファームで繁殖牝馬として導入されています。

父 Saxon Warrior はノーザンファームで誕生したディーブインパクト産駒で、生後6か月ほどでアイルランドに移動すると、エイダン・オブライエン師のもと、英2000ギニー-G1を制覇する快挙を成し遂げています。ディーブインパクト産駒ながら、欧州のタフな馬場で結果を残した父の潜在能力は、相当なものがあるとにらんでいます。

本馬には父母に負けないほどの、スケールの大きな活躍を期待しています。

《10/7 NF早来》騎乗者の指示を素直に受け入れて、騎乗馴致はスムーズに進みました。現在は週5日は屋内周回ポリトラックコースでハッキングキャンターを1800m、週1日は屋内坂路コースでハロン20秒のキャンターを1本のメニューを消化しています。

調教コースでの運動を始めたばかりで馬体に余裕があるので、動きには重め感が残ります。それでも徐々に前向きになり、走りには柔らかみが出て、着実な良化を確認できています。鍛えがいのある馬とみており、これから坂路の登坂本数を増やしてペースアップも図ります。現在の馬体重は497kgです。

